

インタビュー

たまりばの設立・運営に携わっている方々にお話を聞きました。



愛澤 麻衣子 さん

「たまりば」を作ろうと思ったのは、子どもが不登校になったことがきっかけでした。行かなくなった初めの頃は、無理矢理通わせようとしたこともありましたが、学校に向かう子どもの強張った顔を見た時に、「これが子どものためなのか」と思いました。その中で何かできる事をしたいと、カウンセリングや、フリースクールの見学、学校や行政との連絡など仕事と両立しながら動いているうちに、気づけば自分の体調も壊していました。その時、私以外の不登校の家族もこんな思いをしているのではないかと、安心して話せる場所や子ども達をサポートする体制があったら、ここまで苦しまなくてすむのではないかと思いました。そんな思いから「たまりば」はスタートして、たかさんのサポートしてくださる皆さんのおかげで親子で楽しい活動ができています。また、この活動がきっかけとなって「不登校訪問支援カウンセラー」の資格を取得しました。

不登校のお子さんやそのご家族に寄り添った支援や体験を通して、安心して過ごせる居場所づくりをしていきたいと考えています。お気軽にご連絡ください。

子どもが中学校の時に不登校になりました。「学校に行きたくない」と言った時に「わかった。休んでいいよ。」と言えませんでした。当時の私は「ここで休んだらずっと学校へ行かなくなってしまうかも」と思ったからです。限界にくるまで頑張っ、訴えてきた子どもの気持ちだと分かってやれませんでした。親は友達と一緒に学校生活を楽しんでほしいと願っていますが、それが出来ない子どもがいることは事実です。子どもには不登校をマイナスのイメージで捉えて、駄目な自分だと決まってしまうのは嫌いです。今は休息の時間、心のエネルギーをチャージする時、別のやりたい事がある時であって、それが学校の中ではなく、別の場所でやっているだけだからです。不登校への理解や支援が広まっているのはありがたいことです。特別視せずに、そのままを受け入れて共感して支えることが必要だと思っています。「たまりば」の私たちは偶然の出会いで繋がりました。我が子の悩みを共感し、励まし合える仲間がいるのは、本当に心強く幸せなことです。私たちのこれまでの経験を少しでも役立て、この「たまりば」を、不安や悩みを抱える子どもや保護者にとって安心していられる場所にしていけるよう頑張ります。



寺島 潤子 さん



デジタル授業担当
西名 清蔵 さん

スマホ等のデジタル機器を扱うことは現在では子どもでも当たり前になっています。一般的なスマホの使い方や、インターネットを使っの様々な体験を学んでもらっています。



理科の授業担当
古川 晃 さん

「学ぶことって本当はとっても楽しいこと。新しい自分に気づき、もっと先を知りたくなる」たまりばで子どもたちや親御さんたちと、こんな思いを共有できる喜びを感じています。

ひだまりのような たまりばに



5月下旬、田島陣屋に笑い声が響きました。数人の子どもたちが大人と一緒に、カードゲームで対戦したり、理科の授業を受けたり、各々語りあったり。不登校の子どもたちとその保護者の居場所づくりに取り組む「みなみあいづ たまりば」が開く集まりです。

今年5月から「学校を長期でお休みしている、または休みがち」、「なんとなく学校へ行きづらい、やる気が出ない」、「学校や自宅以外に居場所がほしい」そんな思いを抱えている小学生から高校生までのお子さんとその保護者の方を対象に居場所と学びの場を提供しています。

「みなみあいづ たまりば」は、不登校や、その傾向の子を持つ保護者さん同士が集まった有志のサークルです。学校に行くことができない本人が不安や悩みを抱えていることはもちろんですが、その保護者の方方も「どうしたらいいのだろう」「将来は大丈夫なのだろうか」「学校に行けるようになんとかしたい」などの思いを抱えていることかと思ひます。もし同じような悩みを抱えている方がいましたら、お気軽にご参加ください。

みなみあいづ たまりば

- 【対象】** ◇学校を長期でお休みしている、または休みがち
◇なんとなく学校へ行きづらい、やる気が出ない
◇学校や自宅以外に居場所がほしい
などの悩みがある小学生から高校生までのお子さんとその保護者の方
- 【場所】** 町内の空きスペースを活用しているため、お問い合わせください。
- 【活動日】** 月2回程度（主に第1・3金曜日の午後3時～6時）
- 【活動内容】** サイエンス教室、デジタル教室、野外活動、交流会など
- 【参加費】** 参加費などはありませんが、施設使用料など徴収する場合があります。
- 【メール】** tamariba.minamiaizu@gmail.com

イベントや活動内容で発信しています▶
(たまりばInstagram)



保護者のための居場所▶
(LINEオープンチャット)



ユースプレイス in みなみあいづ



ユースプレイスは若者のための居場所で、通学や就労についての支援をしています。

安全で安心して過ごせる居場所です。利用者は、そこで仲間やスタッフとおしゃべりをしたり、ゲームをしたり、本を読んだり、自由に過ごすことができます。

ほかにも、スポーツやイベント、お出かけ、ボランティア、地域の人たちとの交流など、利用者自らがスタッフと相談し、やりたいことを企画することもできます。

【対象】 通学、就労が困難な若者（概ね15歳から49歳までですが事情に応じ柔軟に対応します。）

【場所】 南会津町成年後見センター2階（南会津町田島字中町甲3918-10）

【開所日】 月・水・金曜日 午前10時～午後3時

【参加費等】 参加費等はかかりません。ユースプレイスは町の事業で保健所や社協など、地域のさまざまなサポートやフォローを受けることができるので安心です。

【その他】 「おきあがり相談会」も実施しています。町の保健師と専門相談員（ひきこもり支援相談士）が、生きにくさや将来への不安を感じる方、またはそのご家族の相談を受けています。毎月第2・4水曜日に開催しています。お気軽にご参加ください。

【問合せ】 健康福祉課 社会福祉係 電話 0241-62-6170

えがお ぷらす



南会津町こども家庭センター「えがお ぷらす」では、妊娠や出産、子育ての様々な相談に応じ、必要なサービスやお手伝いできる機関を紹介するなど、町民が安心して妊娠・出産・子育てができるよう子育て世代を支援しています。

小学生から高校生までの不登校についても支援しており、主に、外へ出ることに抵抗があるお子さんの「たまりば」や「ユースプレイス」などの居場所につなげる役割を担っています。保健師や子育て支援員、スクールソーシャルワーカーが訪問し、ゲームや運動、料理まで状況に応じて一緒に活動を行っていますので、ご相談ください。

【問合せ・ご相談】

南会津町こども家庭センター「えがお ぷらす」
(健康福祉課 子育て支援係内)

電話 0241-62-6170

メールでの相談はコチラ▶

egao@minamiaizu.org



▶ 子育て情報を Instagram
にて発信しています



「えがお ぷらす」スタッフ

活動の様子



ボードゲームなどで交流!



みんなで森を探索!



カフェで情報交換♪



サイエンス教室やデジタル教室も開催

お手伝いして下さる方を募集しています!

元教師で子どもたちに勉強を教えてくださいませんか、こんなことをやってみない?などのご提案や、企業の見学やお仕事体験などをさせていただける方、趣味を教えてくださいませんか、ボランティアでご協力頂ける方を募集しています。ご支援よろしくお願いします。

「学校に行きたくないなあ」誰しも一度や二度は、そんなことを考えたことがあるはずだ。

その一方で「学校は行かなければいけないところ」「学校に行かないのは悪いこと」という思い込みもあるのではないのでしょうか。今、こうした世間の常識に苦しむ人たちが増えています。

文部科学省の調査によると、令和4年度の小・中学校における不登校児童生徒数は約30万人で過去最多となりました。

また、不登校児童生徒割合は3.4%で、小学校で60人に1人、中学校で17人に1人となっていることから、不登校が珍しいことではないことがわかります。

学校に行けなくなることは、ある日突然、ささいなことをきっかけに誰にでも起こりえることなのです。中には、自分がなぜ学校に行けなくなったのか自分自身でもわからない場合もあります。

そして、忘れていけないことは、学校に行けない子どもたちが悪くないということです。

そんな子どもたちのため、町でも様々な支援に取り組んでいます。